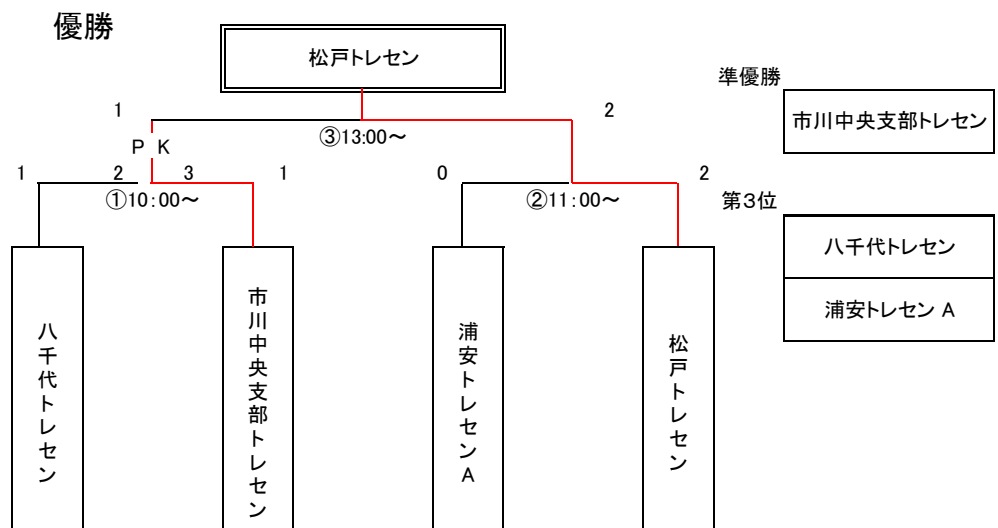


3 決勝トーナメント (20分-5分-20分) 平成23年2月20日(日) 予備日(26日) 富津市ふれあい陸上競技場



準決勝

八千代トレセンvs市川中央支部トレセン

1 (前半 0-1, 後半 1-0) 1

PK 2-3

気温の低い曇り空だが、風も少なくグラウンド好条件の中、八千代トレセンのキックオフにて準決勝第一試合が始まる。立ち上がり 2 分市川中央支部トレセン 21 番田中君のセンターラインやや左からのロングフリーキックからこぼれたところを 11 番高橋君が粘って押し込み先取点、ゲームが動く。その後八千代トレセンも負けじと前線にパスを運ぼうとするが、市川中央支部トレセンの 4 バックが早いインターセプトなどでパスを通させない。更に市川中央支部トレセンはディフェンスから右サイド 11 番高橋君の突破などで追加点を狙うがゴールまでは届かない。追い付きたい八千代トレセンは 10 分過ぎからペースをつかみだし、立て続けにコーナーキックのチャンスが来たが、2 回目のヘディングシュートも枠からそれてしまう。しかし左サイド 10 番吉田君にパスがつながり始め八千代のペースになり終始攻め続けたが得点にはならず前半が終わった。

後半が始まり、立ち上がりは市川中央支部トレセンのペース、FW の二人が両サイドから積極的に仕掛け追加点を狙う。追い付きたい八千代トレセンも負けじと 5 分過ぎからペースをつかみだす。そんな中 10 分これまで安定していた市川中央支部トレセンディフェンダーの痛恨のクリアミスを見逃さず落ち着いてミドルシュート、これが決まり八千代トレセンが追い付く。追い付かれた市川中央支部トレセンは 12 分 10 番窪田君からの横パスに 9 番銘苅君がシュートするが右に外れてしまう。ゲーム終盤はお互い疲れかロングボールが多くなり得点が生まれないうまゲーム終了、PK 戦となる。

PK 戦については市川中央支部トレセン GK 21 番田中君が好セーブし僅差にて市川中央支部トレセンが勝ち残った。

終始攻め続けた八千代トレセンと市川中央支部トレセンの 4 バックの攻防は見応えのあるゲーム内容だったし、市川中央支部トレセンの FW の二人は技術が高く大人顔負けのプレーもあり攻撃のかなめの重要性を感じさせるゲームだった、ぜひ日本のサッカーのため得点力のある FW に育ててほしいものである。

文責：8 ブロック技術委員 染谷時男

平成 22 年度千葉県都市トレセン少年サッカー選手権 4 年生大会

準決勝

松戸トレセン vs 浦安トレセン A

2 (前半 1 - 0 . 後半 1 - 0) 0

松戸トレセンと浦安トレセン A の一戦は終始松戸トレセンのペース。

14 分左サイドから持ち込んだボールを松戸トレセン 針谷君がペナルティエリア線上から左足でシュート。右サイドネットを揺らし先取点を奪った。その後も松戸トレセンが優位に試合を進めるが浦安トレセンから追加点を奪えず前半が終了した。

後半戦終盤、38 分ゴール前の混戦から松戸トレセン 京極君の右サイドからのシュートが決まり追加点をあげ、試合を決定的なものにした。

試合終了後、松戸トレセン小畠監督に「今日の試合を振り返って」の感想を聞くことができた。ドリブルした際にサポートが良くできていた。1対1でも速くプレスを掛け相手選手に自由にプレーをさせなかったことが良かった。とにかく選手の気持ちが前面に出ている素晴らしい試合だった。

先取点をあげた針谷君は、先取点を取れて良かった。決勝戦でも1点取りたい。また、京極君は、1本シュートを外したけれど大事なところでシュートを決められて良かった。決勝戦も勝って優勝したいと喜びのコメントを聞くことができた。

4年生にしては個々人のレベルが高く、素晴らしい試合を見られて良かった。今後益々、レベルアップを目指して頑張ってください。

文責：8ブロック技術委員 長嶺和男

平成 22 年度千葉県都市トレセン少年サッカー選手権 4 年生大会

決勝

市川中央支部トレセン vs 松戸トレセン

1 (前半 1 - 0 . 後半 0 - 2) 2

市川中央支部トレセンと松戸トレセンの決勝戦は、序盤からゲームが動いた。前半 1 分にゴール前のこぼれ球に反応した市川中央支部 F W 高橋君がゴール左隅に押し込み早々と先制点をあげる。その後も市川中央支部が F W 窪田君にボールを集める展開でペースを握り松戸陣内に攻め込むものの、松戸 D F 重田君を中心とした堅い守りで追加点を許さない。松戸も得意のドリブルから素早い攻撃で相手 D F 背後へのパスでシュートチャンスをつくるが得点には至らず、市川中央支部が 1 - 0 で前半を折り返す。

「1 点リードされているが、次に得点したほうが優位に立つ！」とハーフタイムで松戸・小畠監督。後半は市川中央支部の丁寧なパス回しからサイドに展開する攻撃スタイルに対し松戸は持ち前のドリブルと素早い攻撃で相手陣内に攻め込むという形で一進一退の攻防が進む中、後半 13 分ペナルティーアーク手前ほぼ中央付近で F K を得た松戸が、この日途中出場の M F 針谷君が「右上を狙った！狙い通りです！」その言葉通り、左足で豪快に直接ゴールに蹴り込み同点に追いつくと松戸・小畠監督の言葉通り、その後は松戸が優位にゲームを進める展開となった。市川中央支部も堅い守りから反撃に出るが、追加点を挙げたのは松戸。後半 18 分に相手陣内でスローインからのこぼれ球を、F W 吉田君が約 25 m のロングシュートを放ち見事にゴール！「狙い通り！勝って笑って帰りたいかった」と松戸・F W 吉田君。これが決勝点となり松戸トレセンが並み居る強豪を退け見事栄冠に輝いた。

市川中央支部の 6 本のシュートに対して松戸が 5 本とほぼ互角の戦いの中で数少ないチャンスを確実に決める事ができた松戸が勝利を収める結果となった。

素晴らしい決勝戦を演じた両チームの選手をはじめ、今大会に出場した全ての選手がこの大会で得た成果と課題を糧として、将来に向けて今後も更なる成長を見せてくれることを期待したい。

文責：8 ブロック技術委員 後藤誠司